報告日：2018.02.17

**学 院 長**

報告者：植田　吉祥尾

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（受講者）

**教員研修 受講報告書**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **受 講 テ ー マ** | **日　時** | **場　所** |
| 教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況 | **期日　2018.02.17**  **時間　10:30～11:10** | コンピュータ教育学院天神校 |
| **受講内容と受講所感等**  　「教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」についての研修を受講した。  　個人情報の発生事故の統計を見る限り、学生と距離が近い学校（小学校から高校まで）の教員が事故を発生させることが自覚できた。  　今回のような研修を受けて思うのは、電子媒体ではない事故が少なからず発生していることである。媒体を持ち出しての「置き忘れ」は、明確な自分の責任と言うのが分かるが、盗難や校舎への侵入もカウントされているのは驚きをおぼえたのに加え、自分の私物デバイスについても、考慮することが必要ではないかと考えさせられた。  　普段、個人情報の流出について、金銭的に考えることはないが、現実に個人情報の保証額が3万円強となる事がわかると、一層気を引き締める必要があると思った。  　電子媒体では、USBメモリが漏えい頻度として高いものになっている。これらの事は規定で止められているので、それを守らない規定違反を行い漏えいにつながっている。この事は、職場で仕事の官僚ができない為に、自宅にて仕事の継続を行うと言う事であるので、これについては、何らかの対策を考える必要があるのではないかと考える。クラウド上に入力を用意するなどしてデータの流れを制限することで、可能であるような気がする。柔軟な解決を提案してもらえたらと思う。  　漏えい事故については、漏えいせざるを得ないデータの持ち出しに起因することが多いので、これを受け入れる手法があってもいいのではないかと思う。 | | |
| **今後の希望・提案等**  　技術系の研修・特にコラボレートツールについての研修をお願いしたいと思います。 | | |

※受講後、５日以内を目処に研修実施記録と併せ、本報告書を学院長宛に提出のこと